

①緩衝装置（ショックアブソーバ）、②制動装置（ブレーキチャンバ）
③かじ取り装置（タイロッドエンド）のリコールについて

（届出日：令和3年3月31日 開始日：令和3年4月1日）

リコール番号4924

令和3年3月31日、UDトラックス株式会社が下記のリコールを国土交通省に届出しました。
対象車両をご愛用のお客様には、大変ご迷惑をおかけしまして誠に申し訳ございませんが、ご愛用車の措置につきましては、販売会社よりご連絡・ご相談をさせていただきますので、点検・修理（無料）をお受けいただきますようお願い申し上げます。
対象車両をご愛用のお客様には大変ご迷惑をおかけいたしましたことを、心よりお詫び申し上げます。

1. 不具合の状況

大型トラックにおいて、

- ①エアサスペンション仕様の車高調整装置装備車におけるショックアブソーバのピストン構造が不適切なため、横力によってピストンとシリンダの接触面圧が過大となり、荷役作業時等で最大車高まで上昇させ下降する動作を繰り返すと、ピストンリング溝部で内壁を傷つけることがあります。そのため、そのままの状態で使用を続けると、当該ショックアブソーバのピストンリング部に金属片が溜まり固着して曲りや折損が発生し、最悪の場合、タイヤと干渉してバーストまたは発熱により発火するおそれがあります。
- ②制動装置における前輪ブレーキチャンバの組付作業が不適切なため、プラグ（閉止栓）またはテストニップルおよびブレーキホース接続部（ニップルおよびホース接続ナット）の締付トルクが不足しているものがあります。そのため、そのままの状態で使用を続けると当該プラグ等が緩みエア漏れが生じ、最悪の場合、脱落してエアが供給されず制動力が低下するおそれがあります。
- ③前前軸右側タイロッドエンドの固定クランプ締付けボルトのメッキ前処理（酸洗い）工程が不適切なため、水素脆化によりボルトの強度が低下しているものがあります。そのため、そのままの状態で使用を続けると、ボルトが破断してタイロッドエンド部にガタが生じ最悪の場合、タイロッドチューブが破損して、操舵不能になるおそれがあります。

2. 改善の内容

- ①全車両、ショックアブソーバを対策品と交換します。また、取扱説明書に車高調整装置の特性に関する記述の追補版を配布します。
- ②全車両、プラグまたはテストニップルおよびブレーキホース接続部（ニップルおよびホース接続ナット）を点検し、規定トルクで締付けます。
- ③全車両、前前軸右側タイロッドエンドの固定クランプボルト／ナットを対策品と交換します。なお、ボルト／ナットが損傷または脱落している場合には、タイロッドをアセンブリで交換します。

3. 対象車両

- UDトラックス株式会社が製作している大型トラックが対象です。
- 型式、車台番号の範囲、製作期間、対象台数は次の通りです。

車名	型式	通称名	リコール対象車の車台番号の範囲及び製作期間	リコール対象車の台数	備考
UD トラックス	2PG-CD5BA	「クオン」	JNCMBN0C1JU027814 ～ JNCMB02C8JU031052 平成29年11月13日 ～ 平成30年2月5日	2	① 1台 ② 1台
	2PG-CD5CA		JNCMB02C9HU022497 ～ JNCMB02CXJU031683 平成29年7月18日 ～ 平成30年2月21日	51	① 43台 ② 10台
	2PG-CD5CE		JNCMB02C9JU031576 平成30年3月5日	1	① 1台
	2PG-CG5CA		JNCMB02G2JU026738 ～ JNCMB02G6JU031733 平成29年9月18日 ～ 平成30年2月26日	56	① 38台 ② 7台 ③ 14台
	2PG-CG5CL		JNCMB02G6JU026676 ～ JNCMB02G9JU028969 平成29年9月14日 ～ 平成29年11月24日	2	② 2台 ③ 1台
UD トラックス	2PG-CW5AL	「クオン」	JNCMB02DXHU025076 ～ JNCMB02D0JU029983 平成29年8月4日 ～ 平成29年12月22日	3	② 3台
	2PG-CW5CA		JNCMB02D6JU030216 ～ JNCMB0D7JU030690 平成30年1月9日 ～ 平成30年1月24日	2	① 1台 ② 1台
	2PG-CW5CL		JNCMB0DXXHU025266 ～ JNCMB0D4JU028928 平成29年8月3日 ～ 平成29年11月23日	2	② 2台
	2PG-GK5AAB		JNCMB22A7JU027262 ～ JNCMB0A7JU030551 平成29年11月21日 ～ 平成30年1月17日	4	① 4台 ② 3台
	2PG-GK5AAD		JNCMB22A4JU027834 ～ JNCMB22A5JU030547 平成29年10月31日 ～ 平成30年1月18日	4	① 3台 ② 2台
	（計 10型式）	（計 1車種）	（製作期間の全体の範囲） 平成29年7月18日 ～ 平成30年3月5日	（計 127台）	① 91台 ② 31台 ③ 15台

本届出は、平成30年2月22日付け届出番号「4202」にてリコール届出を行ったものであるが、対象範囲を追加届出するものである。

<ご注意>

- 対象車両の含まれる車台番号の範囲には、対象とならない車両もありますので、詳しくは最寄りのUDトラックス販売会社にお問い合わせください。
- 対象車両の製作期間はご購入の時期とは異なります。

【お問い合わせ先】

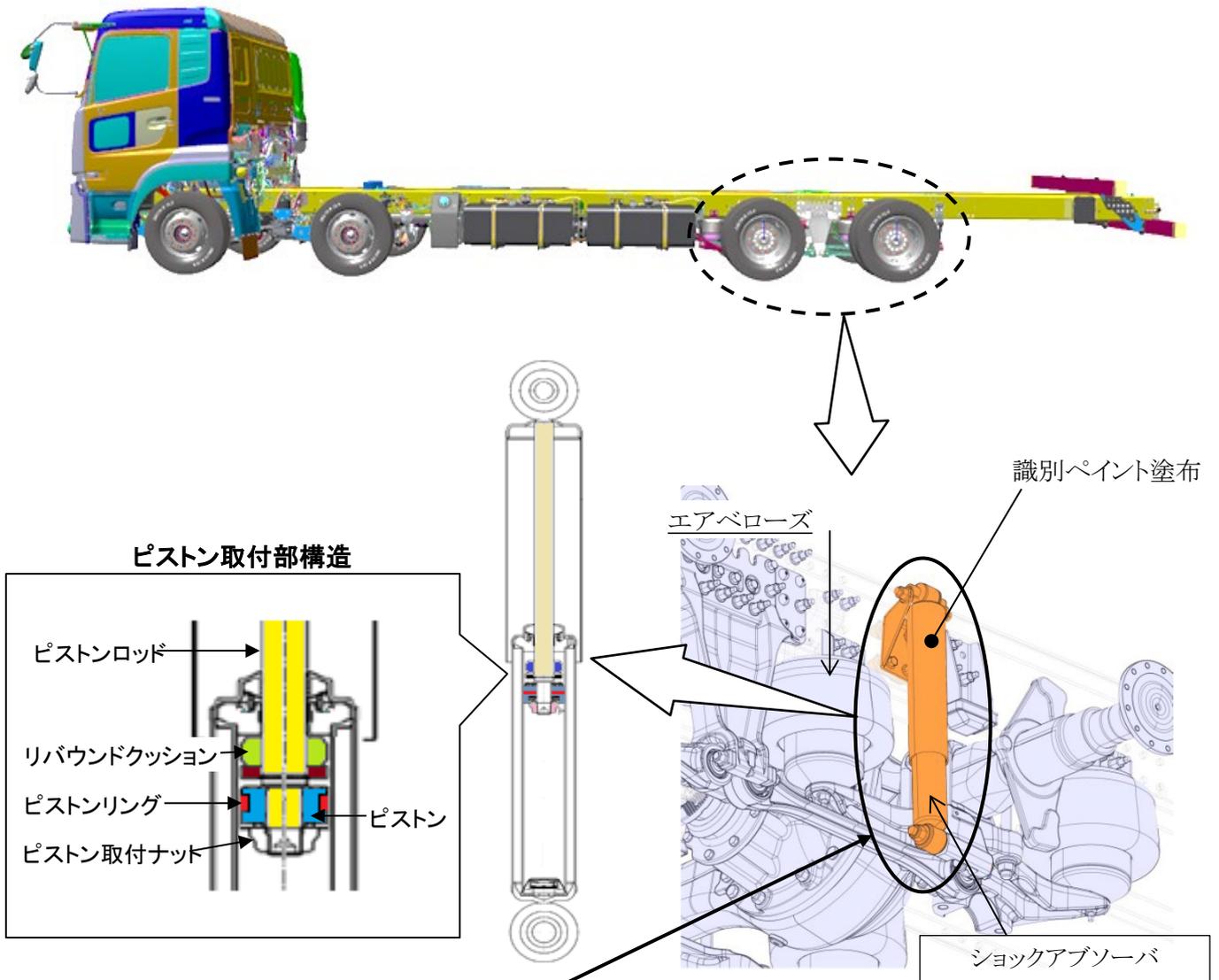
UDトラックス株式会社 お客様相談室

〒362-8523 埼玉県上尾市大字老丁目1番地

フリーダイヤル 0120-67-2301

オープン時間 月曜日～金曜日 9:00～12:00、13:00～17:00
但し、会社休業日を除きます。

改善箇所説明図①



基準不適合発生箇所

エアサスペンション仕様の車高調整装置装備車におけるショックアブソーバのピストン構造が不適切なため、横力によってピストンとシリンダの接触面圧が過大となり、荷役作業時等で最大車高まで上昇させ下降する動作を繰り返すと、ピストンリング溝部で内壁を傷つけることがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、当該ショックアブソーバのピストンリング部に金属片が溜まり固着して、曲りや折損が発生し、最悪の場合、タイヤと干渉してバーストまたは発熱により発火するおそれがある。

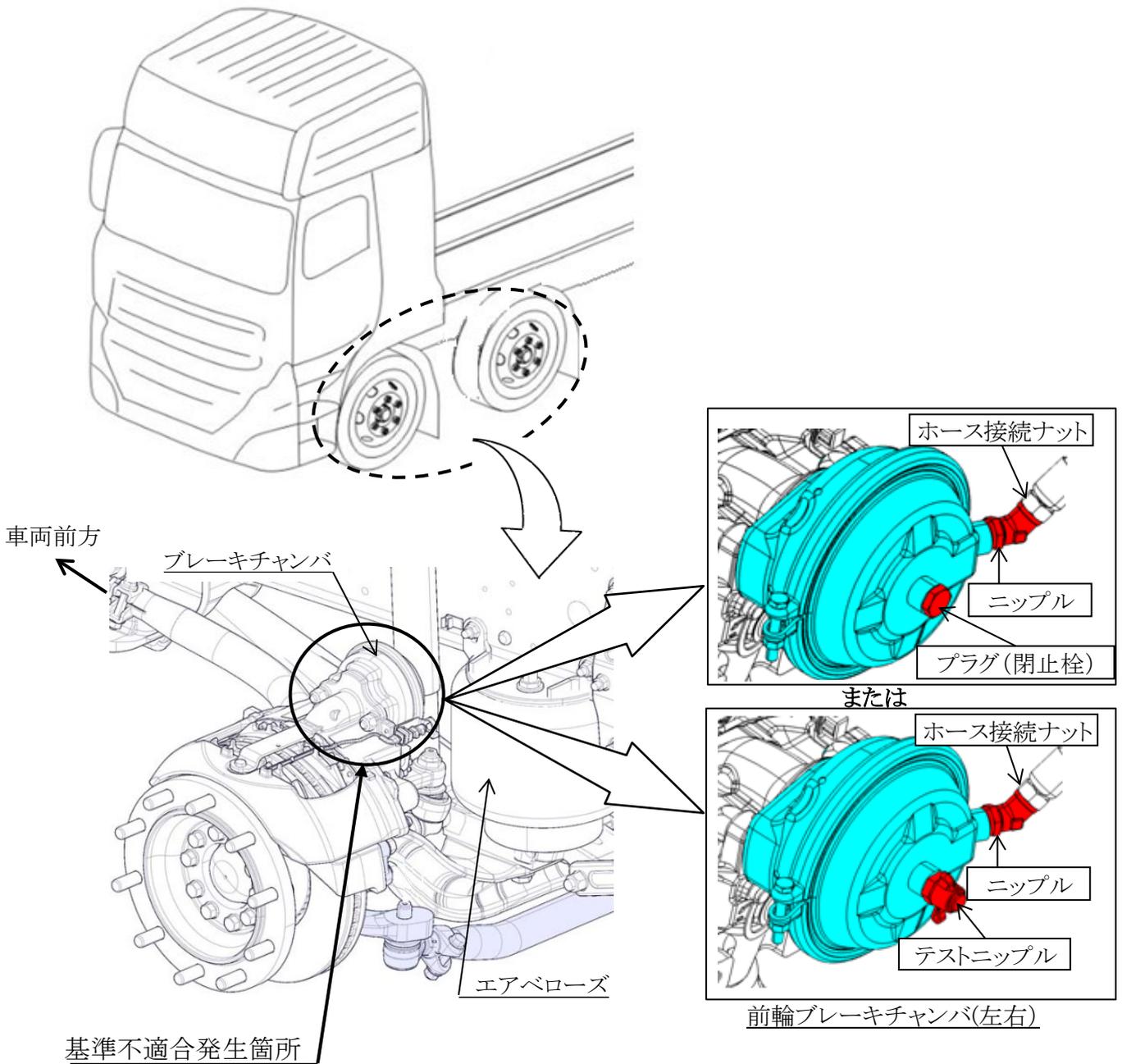
改善措置の内容

全車両、ショックアブソーバを対策品と交換する。また、取扱説明書に車高調整装置の特性に関する記述の追補版を配布する。

注： は交換する部品を示す。

識別： ショックアブソーバ上部外筒の表面に青色のペイントを塗布する。

改善箇所説明図②



制動装置における前輪ブレーキチャンバの組付作業が不適切なため、プラグ(閉止栓)またはテストニップルおよびブレーキホース接続部(ニップルおよびホース接続ナット)の締付トルクが不足しているものがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、当該プラグ等が緩みエア漏れが生じ、最悪の場合、脱落してエアが供給されず制動力が低下するおそれがある。

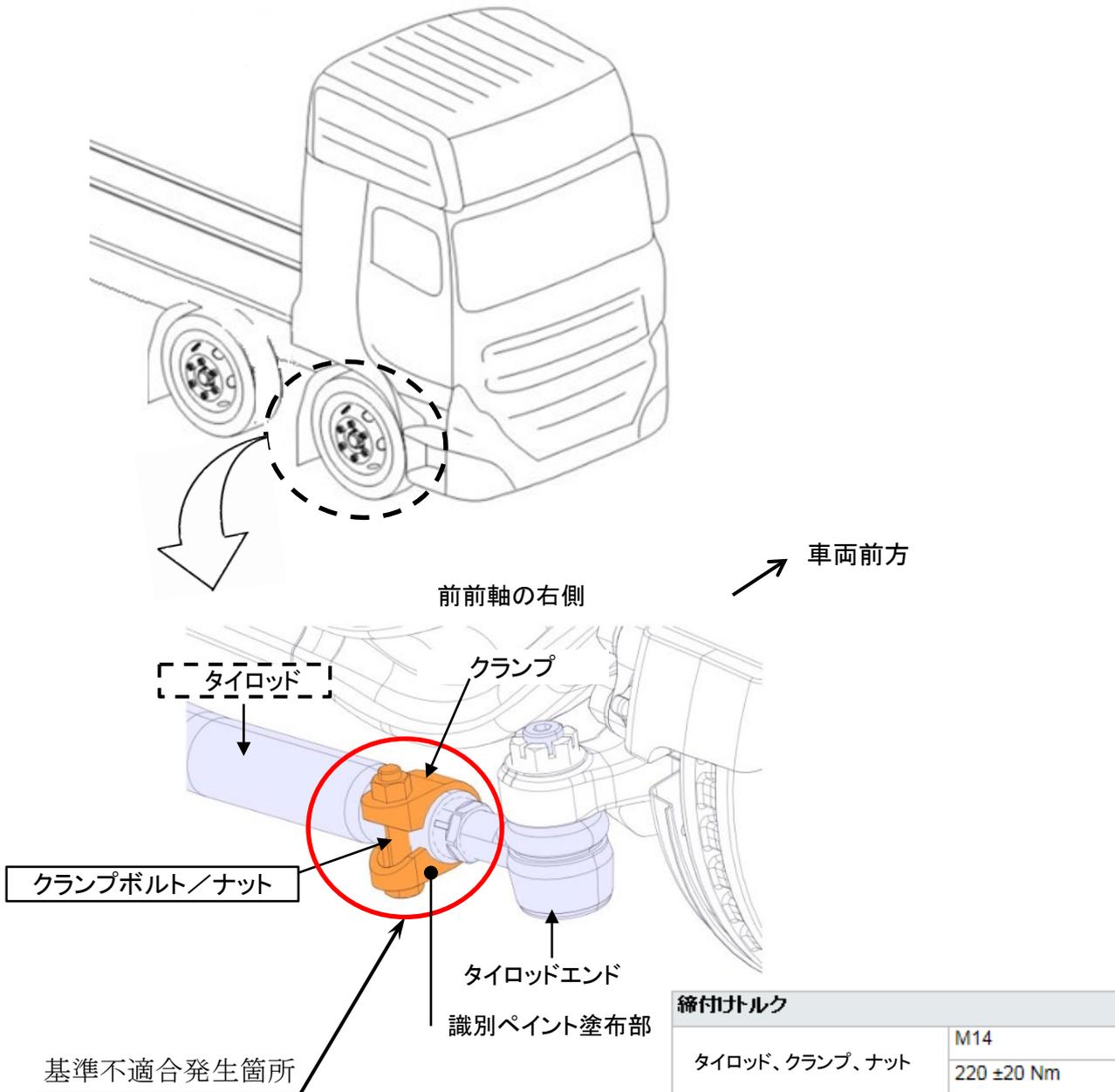
改善措置の内容

全車両、プラグまたはテストニップルおよびブレーキホース接続部(ニップルおよびホース接続ナット)を点検し、規定トルクで締付ける。

注： は措置する部位を示す。

識別:ブレーキチャンバのプラグ(またはテストニップル)およびブレーキホース接続部に青色のペイントを塗布する。

改善箇所説明図③



前前軸右側タイロッドエンドの固定クランプ締付けボルトのメッキ前処理(酸洗い)工程が不適切なため、水素脆化によりボルトの強度が低下しているものがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、ボルトが破断してタイロッドエンド部にガタが生じ、最悪の場合、タイロッドチューブが破損して、操舵不能になるおそれがある。

改善措置の内容

全車両、前前軸右側タイロッドエンドの固定クランプボルト/ナットを対策品と交換する。
なお、ボルト/ナットが損傷または脱落している場合には、タイロッドをアセンブリで交換する。

注： は、交換する部品を示す。 は、必要に応じてアセンブリで交換する部品を示す。
識別: 作業完了車には、右タイロッドエンドのクランプ部に青色ペイントを塗布する。